



せい らん  
青 藍

瀬戸内町立篠川小中学校  
令和2年10月1日発行

校訓 ～明るく 正しく たくましく～  
～ 自律和親 ～

10月号



地域に支えられ成長する子どもたち

校長 中原 誠

本土から彼岸花や秋風に揺れるススキの便りが届く時期になりました。島はなかなか植物や花で「秋」を感じることは少ないと思っていましたが、先日、信号で止まった折、ふと横に黄色の彼岸花を発見、島に秋の訪れを感じました。球根に毒を持ち、田畑のモグラや害虫よけに使われ、墓地でよく見かけるのは土葬の名残とか・

保護者・地域の皆様方、今日も一日、お仕事お疲れ様でした。ご苦労様です。

本年度も早いもので6ヶ月が過ぎ、折り返し地点となりました。今年はコロナ禍により休校や行事、体験活動等が制限され特別な前半だったような気がします。この前半を振り返り、お子さんはどうだったでしょうか。学校では残り後半で最終ゴールの姿を見据え、充実した教育活動が展開され、個や学級の成長に結びつくよう取り組んで参ろうと思っています。

さて、9月20日に校区合同大運動会が行われました。今年はコロナ禍による新しい生活様式や3密回避の為に時間や競技等苦慮しましたが、先の運動会代表者会議で建設的な意見等出され、保護者・地域の皆様方の御理解・御協力により例年に近い形で開催できたことを心より感謝しています。『14人！笑顔で輝け最後まで！！』～篠川オリンピック2020～のスローガンもと、子ども達は集団行動、競技、応援演舞と学年相応に一生懸命練習をしました。子ども達の可能性を引き出し熱心に指導された先生方、その指導に応え練習を重ねその成果を披露した子ども達、そしてその成長を優しい眼差しで見守り、声援を送る地域の方々、三位一体となり感動と楽しさを共有できた素晴らしい運動会だったと思います。また、校庭には用具配置や準備に奔走する高校生や青壮年団の姿がありました。改めて地域の方々の支援や協力でこの篠川校は成り立ち、地域に支えられ子ども達は成長することを実感しました。地域の篠川校への愛情、地域力、地域性が垣間見えた運動会でした。今後も小中併設の良さとして、上級生が下級生に教え、受け継がれ、これがよき伝統として継承され、やがてはそのまま地域力につながるのだと思います。校庭いっぱい子ども達の笑顔が咲き誇った運動会でした。今後も学校は「地域の活性化剤」として元気や活力を与えられる存在でありたいと考えています。ご協力頂いた保護者、地域の皆様方に心から感謝、お礼を申し上げます。次は11月の学習発表会です。今度は体育館いっぱい芸術の音色が響くよう取り組んで参りたいと思っています。